

佐渡バレーボールクラブ 全国大会へ

5月29日、新発田市を会場に開催された第23回全国ママさんバレーボールいそじ大会新潟県予選会に「佐渡バレーボールクラブ」が出場し、圧倒的強さで優勝しました。チーム構成は、50歳以上の女性で、県内7地区から19チームが参加し、佐渡バレーボールクラブが、4試合全てストレート勝ちしました。決勝では、魚沼地区代表の「ゆきわ」チームと対戦し、1セット目は、21対14、2セット目は、21対9、セットカウント2-0で勝ち、11月8日～10日に千葉市で開催される全国大会の出場を決めました。全国大会には各県・地区代表の64チームが集い、グループ戦、決勝トーナメント戦を行います。選手は「みんなと力を合わせ強い気持ちで試合に臨み、決勝トーナメントまで進みたい」と練習に打ち込んでいます。

佐渡バレーボールクラブの全国大会での活躍を期待します。



しまびと元気応援団の家 オープン

6月11日、「しまびと元気応援団の家」が、河原田本町（佐和田）にオープンしました。

「しまびと元気応援団」は、市の健康計画「健幸さど21計画」を推進する市民グループで、「にしめの会」や、「チームがき大将」など、現在37団体・1227人の市民が活動しています。その活動拠点となる「しまびと元気応援団の家」は、各グループでの利用のほか、親子の育児支援やお年寄りが集まれるいこいの場として提供していきます。

オープン当日は、アトラクションとして、団員でもある「ほがらか座」のチンドン屋が練り歩いたり、民謡グループによる佐渡おけさなどが披露され、賑やかなものとなりました。会場には活動を紹介するポスターが貼られ、福祉団体による豆腐やお菓子など授産品の販売もあり、来場者は、楽しみながら健康への関心を高めていました。

「しまびと元気応援団の家」
佐渡市河原田本町219
(河原田本町商店街
旧第四銀行佐和田支店跡地)



第10回京町音頭流し「宵乃舞」

平成14年から開催されている「宵乃舞」が今年で10年目を迎え、本祭りの6月4日・5日の2日間には、22団体延べ約600人の参加申し込みがありました。

1日目はあいにくの雨で開始早々中止となってしまうしましたが、2日目は前日のうっぶんを跳ね返すような熱気の中、大勢の観客に見守られ、佐渡金山繁栄当時メインストリートであった京町通りでは、ぼんぼりのほのかな灯りが、この日参加した12団体約300人の踊り手を照らし、佐渡奉行所までの約1キロの道のりを優雅に「相川音頭」が流れていきました。

なお、第1回から10年連続で参加した次の6団体に、実行委員会から感謝状と記念品が贈呈されました。



10年連続参加の団体

・海府民謡クラブ・若波会・東京おけさ会・株式会社ゴールデン佐渡・立浪会・尖閣湾揚島観光

署名活動を実施

拉致問題の解決が進展しない中、曾我さん母娘を救う会が、全国統一署名活動（横田めぐみさんご家族支援の会主催：6月11日～12日実施）に参加し、6月11日に、拉致被害者救出署名活動を両津港佐渡汽船と金井能楽堂の2会場で実施しました。全国統一署名活動は、全国各地で同時に署名活動を行うことにより、拉致問題への感心を広く喚起し、拉致問題解決の気運を高める目的で、全国で45団体が35か所で実施しました。

